

氏名
(I D)

あなたの受ける検査は

心電図検査です。

心臓の動きに異常がないか簡便に調べる検査です。

【注意事項】 ●軽い運動をしていただく場合があります。

場 所：

日 時：

心臓超音波（エコー）検査です。

心臓が動いている姿や形をそのまま画像にする検査です。

【注意事項】 ●特にありませんが、指示があれば従ってください。

場 所：

日 時：

心臓核医学（RI）検査です。

断面図で心臓の状態や動きを詳しく調べる検査です。

【注意事項】 ●検査の予約日時を守ってください。
●妊娠中・授乳中の方は申し出てください。
●検査前の食事や特定の薬を控えていただくことがあります。指示に従ってください。
●軽い運動をしていただく場合があります。

場 所：

日 時：

心臓カテーテル検査です。

心臓病の診断を確定するための検査です。

【注意事項】 ●入院が必要です。指示に従ってください。
●カテーテル挿入時に軽い痛みがあります。
●ヨード系造影剤を使用するので、アレルギーのある方は申し出てください。

場 所：

日 時：

その他の検査です。

循環器系疾患の検査では、他にX線CT、MRI検査（断面図で血管の形や状態の変化などを調べます）や胸部X線検査（心臓の大きさや形をみます）などが行われることがあります。

検査名：

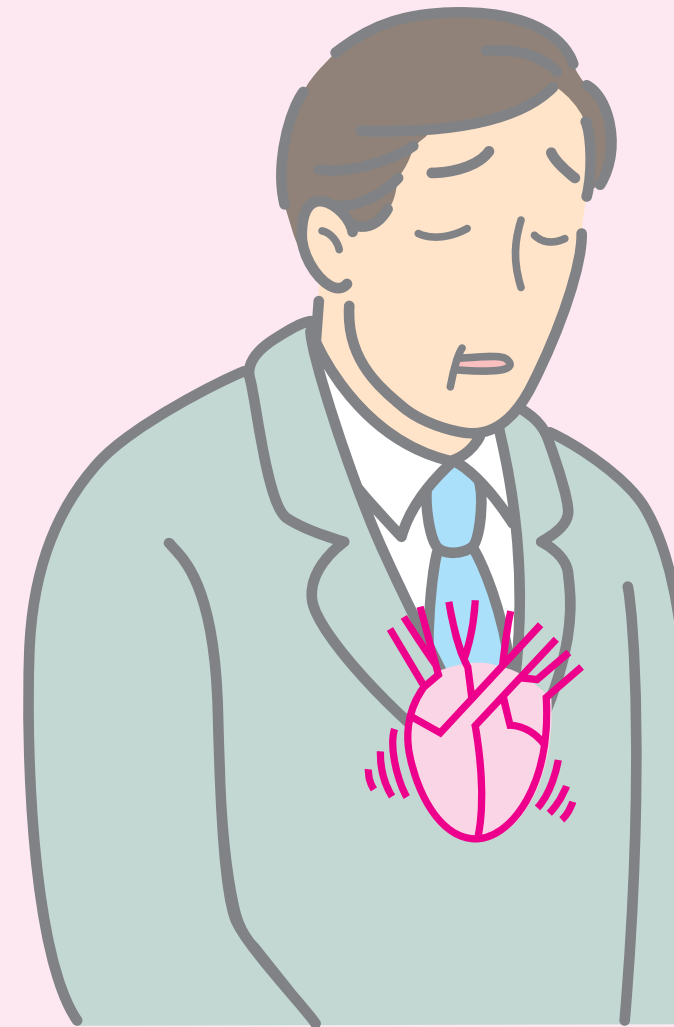
場 所：

日 時：

分からないことや不安な点がありましたら、遠慮なく担当の医師、技師、看護師におたずねください。

病院名

循環器系疾患の検査について



病気を治すには、からだの状態を正しく知る必要があります。

動悸がする、息切れがする…どこか悪いのだろうか、どんな病気なのだろうか。

ポンプのように絶えず収縮を繰り返して血液を送り出す心臓、全身にその血液を循環させ、末梢の組織や器官に酸素を運ぶ血管から成る心血管系は、私たちの命を維持するために非常に重要な役割を担っています。その大切な機構に影響を及ぼす病気を治療するためには、まず血液が循環する様子を正確に把握し、心臓や血管の機能を測定する必要があります。生体・機能検査は、病気の状態を正しくとらえ、治療方針を決定するために欠くことのできないプロセスです。

早期に異常を見つけることで治る病気はたくさんあります。検査を行って正確な診断を受けましょう。

循環器系疾患の主な検査

心電図 (心臓の動きに異常がないか簡便に調べる)

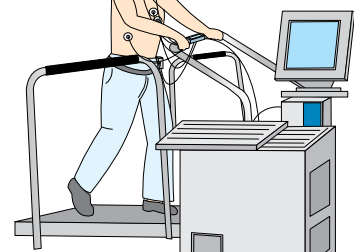
原理 心臓の筋肉細胞は興奮し、収縮するときに電流を生じます。この微量の電流を身体の表面につけた電極を介して検出し、波形として記録します。

わかること 心臓のリズムが速いか遅いか、規則的か不規則か、心臓が大きすぎないか、狭心症や心筋梗塞の疑いはないかなど様々な情報が得られます。

検査方法 ベッドに横になり、両手足と胸に電極をつけて数分間じっとしている間に波形を記録します。痛みはありません。

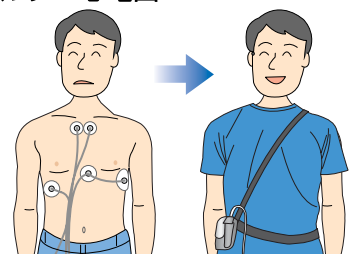


負荷心電図



心臓に負担がかかったときの様子を調べるため、運動してから測定します。

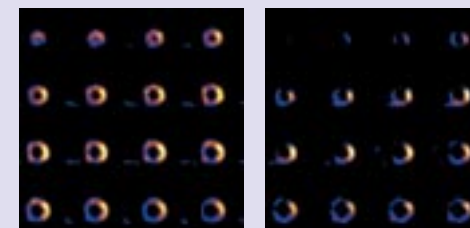
ホルター心電図



突然起こる発作時の様子や不整脈を調べるため、普段どおり生活しながら24時間測定します。

心臓核医学 (RI) 検査 (断面図で心臓の状態や働きを詳しく調べる)

原理 放射線を出すラジオアイソトープ (RI) でしるしをつけた、心臓の筋肉 (心筋) に集まる性質のある薬 (放射性医薬品) を注射し、それから出る放射線を特殊なカメラでとらえて心筋細胞に取り込まれる様子を観察します。薬を変えることで、血流、代謝、神経の様子をそれぞれ調べられます。



心筋血流画像 (安静時) 心筋血流画像 (負荷時)

わかること 心筋に栄養を運ぶ血流の状態や、心筋組織のエネルギー代謝、交感神経の働きを細胞レベルで評価できます。心筋の状態を断面図でみたり、心臓の動き具合を観察することにより、狭心症や心筋梗塞、心筋症などの病気の有無や、その状態を知ることができます。

検査方法 装置のベッドに両腕を挙げて仰向けに寝ている間に、胸のまわりをカメラが動いて検査します。20~30分で終わります。痛みはありません。運動または薬を投与して心臓に負担をかけてから検査する場合もあります。その場合は、比較のためにもう一度安静状態で検査します。

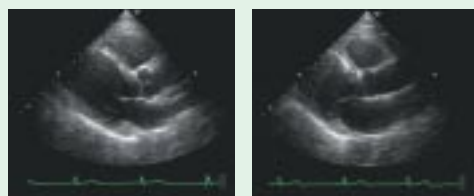


心臓超音波 (エコー) 検査 (心臓が動いている姿や形をそのまま画像にする)

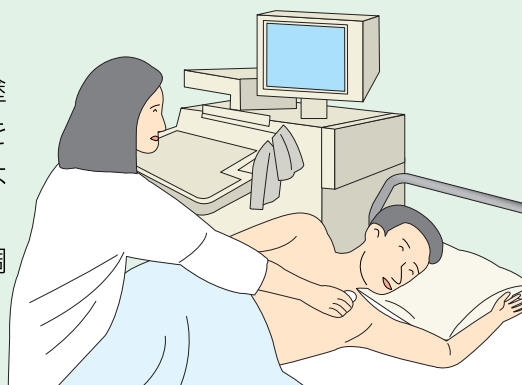
原理 人間の耳に聞こえない音波である超音波を、胸の上にあてた筒状の装置 (プローブ) から出し、心臓の筋肉や弁にあたって跳ね返ってきたものを受信し、心臓の実際の動き、形を画像にします。

わかること 心臓の大きさ、形、壁の厚さ、動き方、血液の流れる速さ、向きなどがわかり、心筋梗塞、狭心症、弁膜症、先天性心疾患などの診断に用いられます。

検査方法 横になり胸部を露出し、密着させるためのゼリー剤を塗ってからプローブをあてます。モニターに写った画像を見ながら診断し、通常20分程度で終わります。痛みはありません。まれに、薬を使って心臓に意図的に負担をかけてから調べる場合もあります。

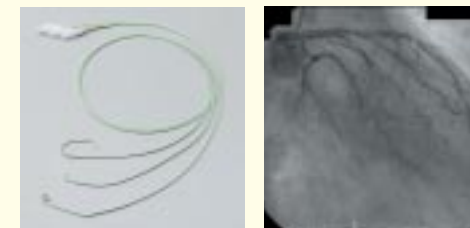


拡張期 収縮期



心臓カテーテル検査 (心臓病の診断を確定するための検査です)

原理 細いチューブ (カテーテル) を心臓の中、または冠状動脈へ挿入し、心臓の内圧を測ったり、造影剤を注入して心臓の内部や血管の病変部分をX線撮影します。まれに合併症を起こす危険性や多少の苦痛を伴うことがあるので、治療上必要な場合に用いる検査です。



カテーテル 血管のX線写真

わかること 心臓の中の小部屋 (心室) の大きさや動き方、心臓に栄養を運ぶ冠状動脈が狭くなったり詰まったりした部分の有無や程度が最もはっきり分かります。弁膜症や先天性心疾患、虚血性心疾患など多くの心臓病の治療方針を決定するための重要な情報が得られます。

検査方法 局所麻酔を行い、大腿の付け根、または腕や手首の血管からカテーテルという細いチューブを挿入し、心臓まで通して造影剤を注入しながら検査します。通常入院して行います。

